

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年6月14日時点)

➤ **露軍が各正面で攻勢を強め、ウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続する一方、ウクライナ軍は火砲や砲弾、防空ミサイルなどの不足に直面する中で防御戦闘を継続**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT23年8月18日)

: 死者約18万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

: 死傷者50万人以上 (英国防省24年5月31日)

「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT23年8月18日)

: 死者3.1万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN23年12月4日)

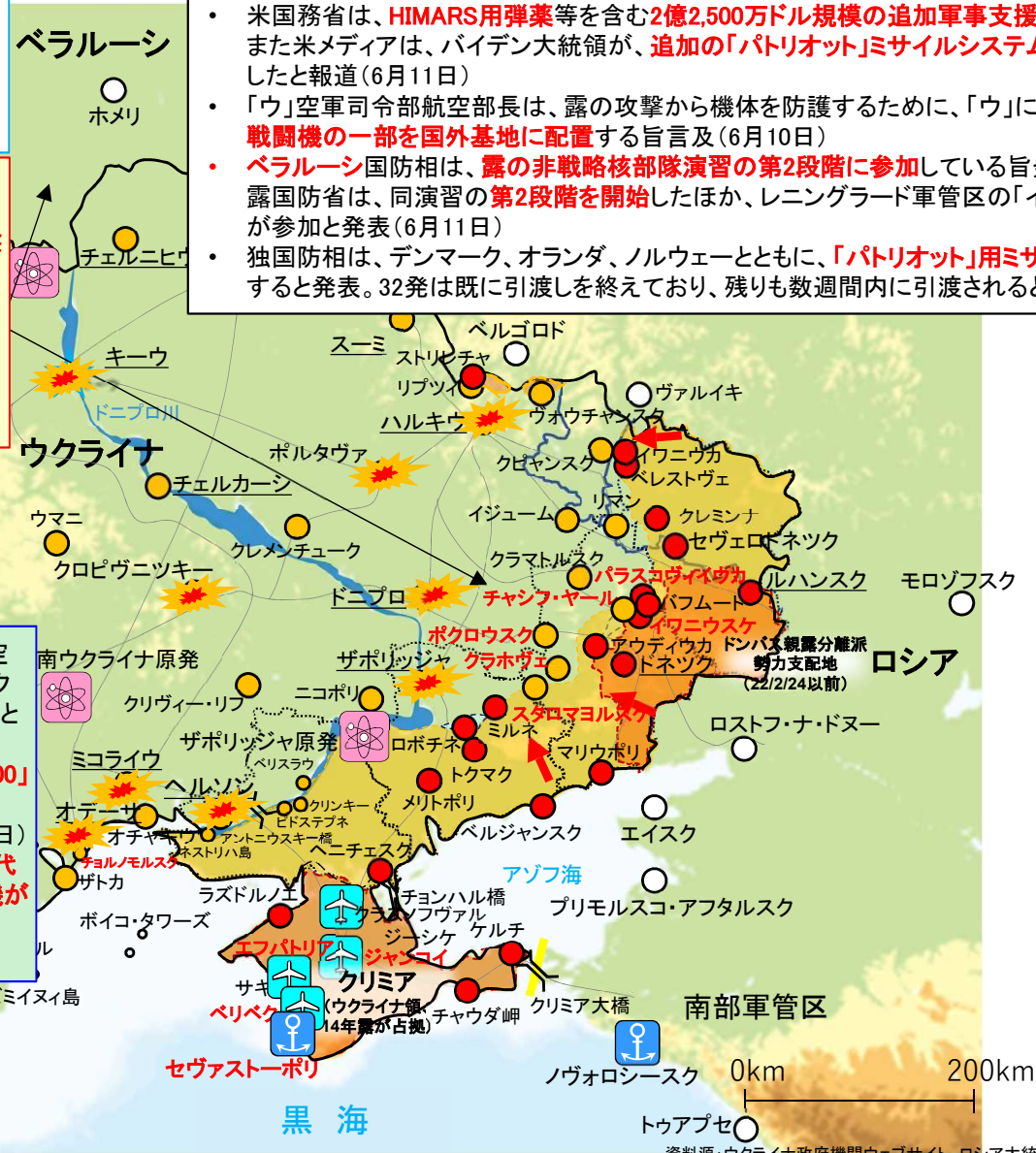
- 露国防省は、ドネツク州 **パラスコヴィイウカ村** を解放したと発表 (6月7日)
- 露国防省は、ドネツク州 **スタロマヨルスケ村** を解放したと発表 (6月10日)
- ゼレンスキー大統領は、前線の状況に関して、**ハルキウ州** では「ウ」軍が反撃を継続しているとした一方、**ドネツク州** については **各正面の中で最も困難な状況** にあり、陣地の安定化及び防護に全力を尽くしていると発言 (6月10日)
- 英国防省は、露軍が、**チャシフ・ヤール南東イウニスケ** も制圧した可能性があると発表 (6月12日)
- 「ウ」総司令官は、露軍が、特に **ポクロウスク** 及び **クラホヴェ** 方面に注力し、最も多くの突撃部隊を同地域に集結させていると表明 (6月12日)

- 「ウ」軍情報総局は、ミサイルにより、**クリミア半島ジャンコイ** に位置する地対空ミサイルシステム「S-400」×1基、**エフパトリア** 及び **オデッサ州チェルノモルスク** に位置する「S-300」×2基を攻撃し、同システムのレーダーの停止を観測したと発表 (6月10日)
- 「ウ」情報総局は、ミサイルにより、**クリミア半島ベリベク** 近郊に位置する「S-300」×1基、**同地域及びセヴァストーポリ** に位置する「S-400」×2基を攻撃し、**それぞれ1基を破壊**したほか、残りの「S-400」の状況は解析中と発表 (6月12日)
- 「ウ」情報総局は、露アストラハン州 **アフトゥビンスク** 空港に駐機中の **露第5世代機「Su-57」** に初めて **損傷を与えた** と発表 (6月9日)。また、同局報道官は、**1機が大破**したが、もう1機はより軽度な損傷であり、短期間で修復され得る旨発言 (6月12日)

- マクロン大統領は、**ミラーージュ2000-5戦闘機** を「ウ」に供与すると発表。パイロットの訓練は、今夏から仏国内で実施され、年末までに双方を揃えることを目標にしていると発言 (6月6日)
- 米国務省は、**HIMARS用弾薬** 等を含む **2億2,500万ドル規模の追加軍事支援** を発表 (6月7日)。また米メディアは、バイデン大統領が、**追加の「パトリオット」ミサイルシステム** の「ウ」配備を承認したと報道 (6月11日)
- 「ウ」空軍司令部航空部長は、露の攻撃から機体を防護するために、「ウ」に供与される **F-16 戦闘機の一部を国外基地に配置** する旨言及 (6月10日)
- ベラルーシ** 国防相は、**露の非戦略核部隊演習の第2段階に参加** している旨発表 (6月10日)。露国防省は、同演習の **第2段階を開始** したほか、レニングラード軍管区の「**イスカンデル**」部隊等が参加と発表 (6月11日)
- 独国防相は、デンマーク、オランダ、ノルウェーとともに、**「パトリオット」用ミサイル100発** を提供すると発表。32発は既に引渡しを終えており、残りも数週間内に引渡されると発言 (6月11日)

- 主要都市 (下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点 (接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域

国土院標準地図を加工



資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等